てんのくにへいったモモちゃんへ

モモちゃんはぼくがうまれるまえからいえにいた犬です。犬だけどしっぽはありません。ウェルシュ・コーギーという、あしのみじかい犬です。

ことしのはじめに「てんのくに」へいきました。

がんというびょうきでした。ぼくはふわふわでわたがしのようなモモちゃんがだいすきです。

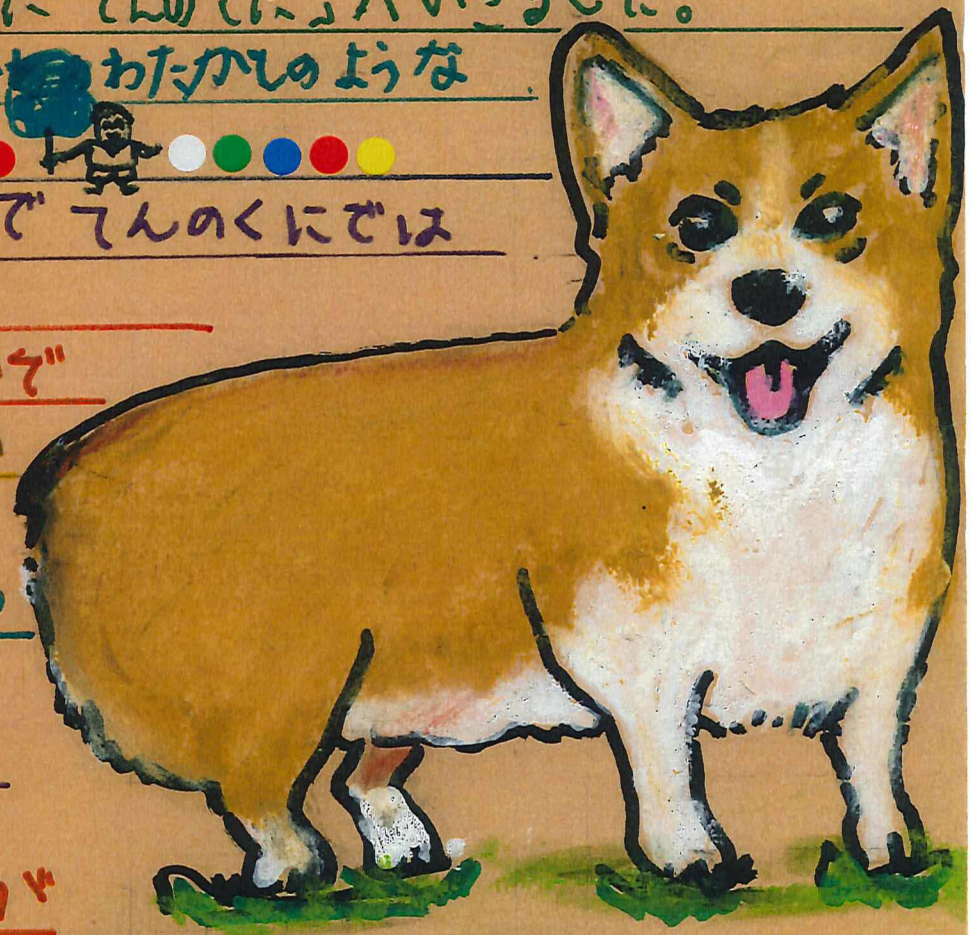
くいしんぼうで、ごはんをよくたべるいぬだったのでてんのくにではおなかをすかせていないかしんぱいしています。

でも、「マッチうりのしょうじょ」というおはなしのなかでてんのくにでは、さむさもおなかがすくこともないとしって、あんしんしました。

四月のぼくのたんじょうびには、モモちゃんからてがみがとどきました。そこには、

「いつもそばにいるよ、どんなゆうきくんも大すきだよ。」

とかいてありました。ほんとうにモモちゃんがそういってくれているきがして、うれしくてたからもののてがみになりました。モモちゃん、みまもってくれてありがとう。



ゆうこより